

いぶやの社もり

第9号

令和5年1月

揖夜神社
総代会

新年のご挨拶

第二十六代宮司 井上 眞澄



年頭にあたり謹んで国の隆昌と皇室の弥栄、氏子の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

昨年は、総代会、奉賛会実行委員会の方々の御努力と各地区のご協力を得、穂掛祭・一ツ石神幸祭、陸行列を厳かに斎行できましたこと、大変喜ばしく思っております。

本年も昨年同様、氏子の皆様のお力を得ながら、神事を滞りなく遂行・ご奉仕することができますよう神職一同願っております。

大神様の御神徳のもと、氏子の皆様のご安泰と町内企業の益々のご発展を衷心よりご祈念いたします。

御遷宮について

揖夜神社御造営委員会

委員長 永島清孝



新年明けましておめでとございます。氏子の皆様におかれましては清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。揖夜神社は、ご承知のように千三百年前に編さんされた日本書紀や出雲風土記に登場し、意宇六社の一つとして出雲大社創建に大きく関わった格式の高い神社であります。年の初めに是非ともご参拝頂き、ご神徳をお授かりになられますようお願い致します。

また、令和七年の御遷宮に向け

ましては多くの氏子・崇敬者の方々より寄進金を賜り厚く御礼申し上げます。

『昔から伝わる伝統行事は、それに類した事柄が実在したから続いている』、また『神社や祭りには人々を結び地域を活性化する大きな秘められた力がある』とも言われています。神社を盛り上げるこ

とが、我が町の元気を**い**やま**ま**す原動力になるものと思っております。

どうか、この御遷宮を成功させるためにさらなるご協力を賜りますようお願い致します。

最後に本年が皆様にとりまして幸せな年となりますよう衷心よりご祈念申し上げます。



謹賀新年

本年もよろしく

お願いいたします

す

宮司	井上 眞澄
禰宜	井上 智澄
権禰宜	宮川 眞臣
井上	弘良
寺岡	悠馬

責任役員	永島 清孝
永島	一雄
越野	伸夫
岩谷	英樹
新見	光男
田中	俊治
若林	健一

総代会	会長	永島 清孝
奉賛会	会長	永島 清孝
敬神婦人会	会長	須山 紘美
氏子青年会	会長	永島 一雄
いぎなみ会	会長	永島 一雄



御遷宮寄進のお願い

ご寄進者名を掲示させていただきます。三十年に一度の大事業で歴史ある揖夜神社を後世に引き継ぐため多くの方々のご協力が必要です。工事はこれから始まりますが、当初の目標を達成するためには、まだ資金が不足しております。何卒ご理解を頂き、更なるご寄進を賜りますようしくお願います。



境内灯籠一部撤去されました

(倒壊落下の恐れあり令和4年8月25日下記の部分を撤去し



撤去部分

前回遷宮迄は同型灯籠が対だった

社務所左側(北側)の五反田灯籠
【刻文字】
・製作年月日 明治十五年八月十日
・奉納者 五反田
・製作者 松江新材木町 石工山根金〇〇〇
※屋根部分損傷激しく落下の恐れあり撤去



撤去部分

鳥居を入れて左側の亀扶を持つ灯籠
【刻文字】
・製作年月日 天保六年(1835) 三月十九日
・奉納者 當町網方中
・製作者 紺屋町 石工銀次郎作
※屋根の部分に亀裂が入り危険なため撤去



撤去部分

石階段手前左側の灯籠
【刻文字】
・製作年月日 安政二年(1855) 正月吉日
・奉納者 新町 講中・世話人 教名判読不明
・製作者 〇〇町 石工〇〇〇
※樹木の根上がりで倒壊の恐れあり撤去



撤去部分

石階段手前右側の灯籠
【刻文字】
・製作年月日 天保五年(1834) 九月十九日
・奉納者 新町 講中・世話人 永野仁平
・製作者 紺屋町 石工銀次郎作
※屋根風化、竿が細く折損の恐れあり撤去

穂掛祭と一ツ石神幸祭

令和四年八月二十八日(日)に穂掛祭と一ツ石神幸祭が斎行されました。陸行列(神輿・提灯行列)は、新型コロナウイルスの感染者も徐々に少なくなってきましたので細心の注意を払い、規模を縮小して実施しました。

八月十九日

(金)に総代の皆さんで境内にあるご神木と一ツ石の注連縄づくりを行い、二十一日(日)には崎田地区の皆さんで一ツ石の清掃と注連縄の取替えを行っていただきました。当日は例年にならぬ北からの



風が強く、予定を変更し午後からの作業となりましたが、無事取替えることが出来ました。



穂掛祭 3年振りの陸行列

今年は三年ぶりの提灯行列となりましたが、新型コロナウイルスの影響を考慮し屋台の出店は中止、また自動車を使った山車の乗り入れを禁止したことからの原則子ども参加も中止となり、昔ながらの提灯だけの行列となりました。

午後七時半に西掛屋交差点を出発、東市場の露払いを先頭に六地区が神幸丸(御神輿船)を護りながら、高張提灯・鈴成提灯を掲げ神社まで練り歩き、行列の最後は、「松江蓼友会」の響の響きと「舩の会」の山車が祭りを盛り上げました。

神社の拝殿では、貴船神楽社中による神楽「大蛇(オロチ)退治」が午後七時三十分と午後九時三十分の二回奉納され、オロチの舞に多くの参拝客が酔いしれました。午後九時からは、奉賛花火が打ち上げられました。



(氏子代表が神幸丸を曳いて神社へ向かいます)



(甦った提灯行列)



(松江蓼友会が祭りを盛り上げました)



(貴船神楽社中による「大蛇(オロチ)退治」の奉納)



(8月20日太鼓の講習会)

例祭

令和四年十月十九日(水)午後三時より例祭が斎行されました。揖夜神社で行われる最も重要なお祭りで、神さまの御神徳を称え、皇室の御安泰、氏子・崇敬者の繁栄、五穀豊穡などが祈られました。

境内では、新型コロナ



の影響を考慮し規模を縮小し揖夜小学校の書道展・児童絵画展や奉納品の抽選が行われ多くの参

(宮司祝詞奏上)

拝者で賑わいました。また、井上宮司の孫である寺岡悠馬権禰宜が先導役として斎行に加わりました。

新嘗祭・庭積献上祭

令和四年十一月二十五日に新穀をお供えし恵みに感謝し氏子の繁栄をお祈りする新嘗祭と、今年収穫された品々を神様にお供えし感謝申し上げる庭積献上祭が行われました。

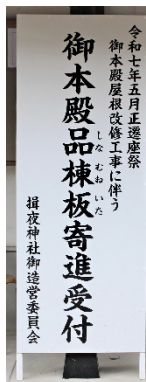


(氏子の皆様から多くの作物などが奉納されました)

品棟板寄進のお願い

社務所窓口にて「品棟板」のご寄進を受け付けております。これは、神様のお住まいである御本殿の屋根を守る大切な棟板として使用いたします。

是非この機会にご寄進いただき御神徳をお受けいただけますようお願いいたします。(一口二千円で棟板に住所・氏名をご記入ください。)



いざなみ会の視察研修

令和四年十一月十七日に大東町に鎮座する日本初の宮で知られる須我神社や佐瀬神社、玉湯町に鎮座する玉作湯神社へ行ってきました。天気にも恵まれ十七人の参加で和やかな視察研修となりました。



(須我神社にて)

「一年の計は元旦にあり」と言われます。新しい年を迎えて、旧年中 神さまにお守りいただいた事に感謝し、「これから一年、この世の中と家族皆が幸多い年でありますように」と神社にお参りするのが初詣です。先ずは、氏神様である揖夜神社へお参りして感謝と祈りのまごころを捧げましょう。

